



平成 26 年 8 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 26 年 7 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 26 年 7 月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	67	38.2%	△5.6%	19.8%
半導体分野	77	44.1%	△12.8%	70.4%
その他分野	31	17.7%	△49.9%	—
合計	176	100.0%	△20.9%	72.3%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H25.8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月
F P D分野	48	52	72	68	62	39
半導体分野	53	53	59	64	63	67
その他	0	4	29	64	121	219
合計	101	109	161	197	248	325

区分	2月	3月	4月	5月	6月	7月
F P D分野	8	49	47	58	71	67
半導体分野	72	70	80	84	89	77
その他	191	61	21	43	62	31
合計	272	181	149	186	222	176

3. 月次受注残高の概況

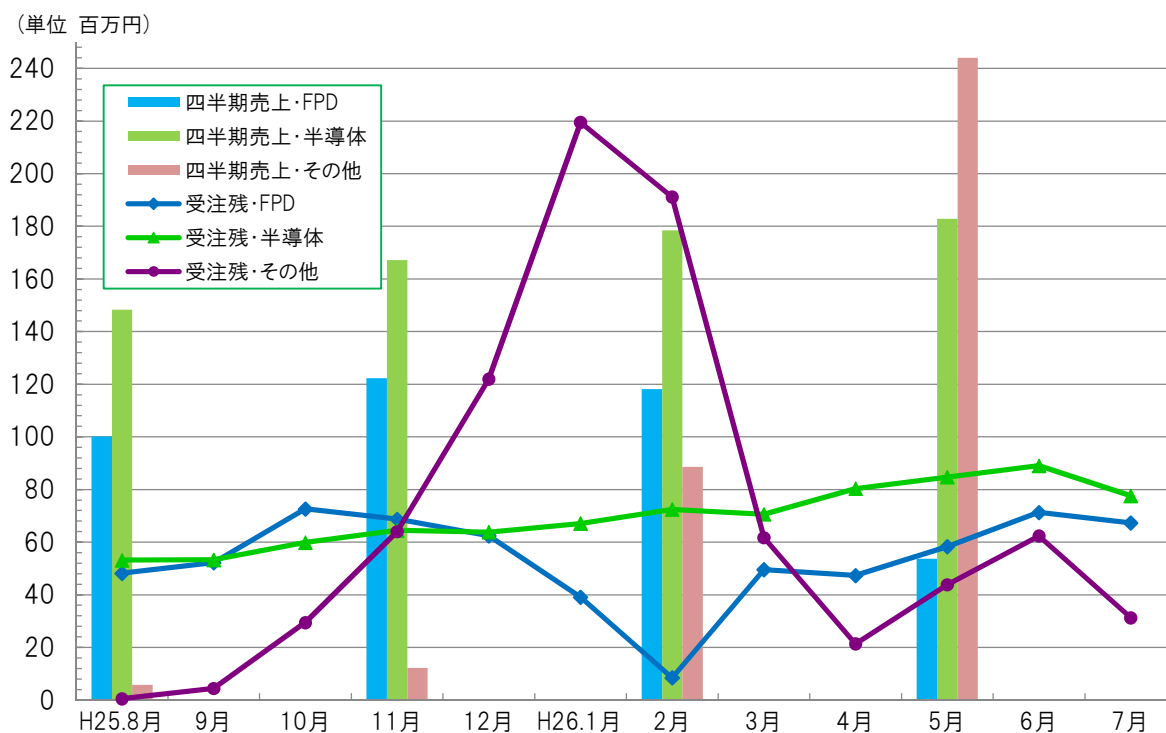
平成 26 年 7 月末の受注残高は、FPD 分野においては、検収は好調に推移しながらも受注が伸び悩み、対前月増減率で 5.6%減、対前年同月増減率では 19.8%増の 67 百万円となりました。半導体分野においても、検収は高水準を維持しながらも受注が一時的に停滞した影響で、対前月増減率で 12.8%減、対前年同月増減率では 70.4%増の 77 百万円となりました。その他分野におきましても出荷検収が進んだことで対前月増減率は 49.9%減の 31 百万円となりました。これらの結果、平成 26 年 7 月末の受注残高は、対前月増減率 20.9%減、対前年同月増減率 72.3%増の 176 百万円となりました。

今後の見通しとしましては、FPD 分野では、足元で動き始めている 5～8 世代向けの受注が低調ながら続く見通しであり、本格的な受注拡大は今秋以降と想定しております。また、半導体分野では、主要な分野で回復基調が続くなか、受注品種の拡大も重なり受注高および売上高の増加傾向は続く見込みです。その他分野においてもリピート受注を継続的に確保できる見通しを持っております。

全般的には、概ね好調な市場環境が続くなかで売上高は高水準を維持しながらも、受注の内容が短納期品に偏っていることで、比較的に受注高が低減している状況です。このような環境のなかで、社内生産性の改善と協力企業との取引拡大により生産能力を高め受注拡大を目指します。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。